

議会だより



あたらしい出会い！
「ひまわりこども園入園式」

平成29年3月定例会・臨時会

あらまし・予算概要	2
議案審議・委員会提出議案	3
予算審査特別委員会	4
請願・人事案件	5
臨時会	6
一般質問 9人が登壇	7
委員会レポート	16
町民の声	18

可決！

平成29年第2回定例会は3月7日から3月17日まで開催されました。町長から提出された議案は専決処分の報告1件、平成28年度補正予算11件、平成29年度予算13件、条例の制定2件、条例の一部改正9件、指定管理者の指定7件、工事請負契約の一部変更2件、町道路線の変更2件、教育長の任命同意1件であり、すべて原案のとおり可決しました。

一般質問は9人の議員により2日間にわたり行われました。ほかに委員会提出議案2件、議員提出議案1件が提出されました。

【一般会計予算の概要】

『歳入』

町税

現下の景気動向及び予算編成指針等を勘案し計上。個人町民税は農業所得の伸びにより増額、法人町民税は申告法人数の減少に伴い減額。固定資産税は徴収実績を勘案し減額。町税全体で前年度対比約4400万円、率にして2・4％減額。

地方交付税

国の地方財政計画等により、前年度比約2990万円、率にして約1・0％の減額。

町債

過疎対策事業債、公共事業等債、臨時財政対策債等を活用し、前年対比約3億2200万円、率にして31・3％の減額計上。

『歳出』

第七次猪苗代町振興計画

まちづくりの基本理念を「ともに地域を育て、みんなが心地よく暮らせるまち 猪苗代」と定め、5つの基本目標を掲げてまちづくりを進める。

風評被害対策

教育旅行はじめ一般旅行者、さらには外国人観光客の呼び戻しを図るため「10万人泊事業」を引き続き実施する。また、各種イベントを支援し、本町の魅力を全国に発信する。

スポーツ振興

本年7月28日から31日まで「全国高等学校総合体育大会空手道競技大会」が、また10月25日には3年連続で「福島県高等学校駅伝競走大会」が開催され

【主な質疑・討論】

《猪苗代町放置自転車等対策条例》

問 自転車が放置されている「公共の場所」は、町が管理するものに限るのか。

答 国県が管理している様々な公共の場があるので、それぞれの管理者と連携し対応したい。

《猪苗代町教育施設整備等基金条例》

問 教育施設とは何を指すのか。

答 町が管理する小中学校、教育委員会で所管することも園、保育所等である。

問 学校建設という目的基金の設置はできなかったのか。

答 幅の広いような基金条例になったが、当面予定する統合中学校、その先の小学校の大規模改修等を想定している。使途は限定することも考えている。

【反対討論】

【瀧田勝昭議員】

今回提案された条例は学校建設といっているが、大規模改修などすべての教育施設に適用できる。他に使用できない条例制定が必要と考えるので反対。

《猪苗代町森林公園の指定管理者の指定について》

問 びわ沢原森林公園の林業研修センターと公園部分の利活用は。

答 林業研修センターは老朽化が進み、浄化槽が使用できないため閉鎖している。公園部分もトイレが老朽化していて利用者から苦情が出ているが、現場の状況を理解した上での使用については引き続き行っていきたい。

《猪苗代町サイクルセンターの指定管理者の指定について》

問 道の駅のレンタサイクルとサイクルセンター、サイクリングロードの連携は。

答 三城潟地区にあるサイクルセンターと湖岸沿いのサイクリングロードは、利用していただけるので、連携しながら利活用を行っていく。

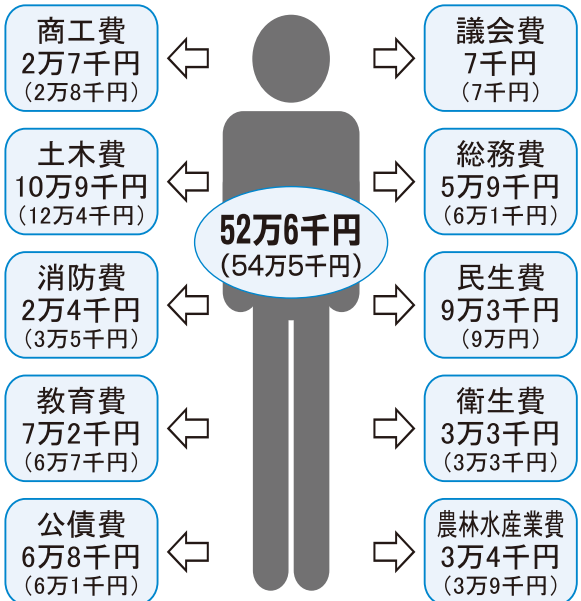
《猪苗代町教育委員会の教育長の任命につき同意を求めることについて》

問 任期は。

答 平成29年4月1日から平成31年9月30日である。

町民一人当たりの主な 使い道（一般会計）

※（ ）は28年度



る。これらのスポーツイベントを通して元気な猪苗代町を発信し、自然・文化・人のすばらしさを伝える。

平成29年度の一般会計予算の総額は、78億円となり、前年度と比較して、4億3600万円、率にして5・3％の減額となった。

平成29年度末の町債の現在額は約92億600万円となる見込みで、安定した財政基盤を確保するため、可能な限り起債額を削減する努力を続ける。

《第七次猪苗代町振興計画基本構想の策定について》

問 平成38年の目標人口1万2900人とあるが、もう少し高い目標を持ち、努力することが必要ではないか。

答 人口減少幅の縮減、低速化に努め、平成72年には人口1万人維持を目標に各種施策に取り組む。

委員会提出議案

《地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書》

【反対討論】

【金本久美子議員】

一面だけで捉えたものでしなく、不十分であるという観点から反対。

【細貝功人議員】

意見書の内容に不足している部分があるので反対。

【賛成討論】

【五十嵐ミエ子議員】

住民の関心の低下や地方議会議員のなり手が不足している中で、時代に相応したものにしていくため賛成。

【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
	星野あけみ	瀧田勝昭	佐瀬真	細貝功人	佐藤英一郎	大橋清喜	渡辺二公	長澤操	金本久美子	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	佐藤光幸	関沢和人	後藤公男	長沼一夫	
平成28年度猪苗代町一般会計補正予算（第9号）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
猪苗代町教育施設整備等基金条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	可決
地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	○	○	×	○	○	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、同数の場合には議長が採決に加わる。

議長を除く14人の委員で、平成28年度補正予算10件、平成29年度予算13件を審査しました。

平成28年度一般会計補正予算

【主な質疑】

歳入

《町税》

問 町民税個人分の増額要因は。
答 平成27年の米の買い取り価格がアップしたことに伴い、農業所得が伸びたことから増額を見込んだ。
問 町民税法人分の減額理由は。
答 法人数が前年同期比13法人減少しており、このことが大きな要因と考える。
《県支出金》
問 子どもの学習支援による地域再生事業委託金の減額の内容は。
答 年度途中から立ち上げた事業の活動回数が少なく、報酬の減額があった。東京学芸大学との連携により、講師の旅費やスポーツ安全保険の掛金が増えたが、収支で38万5千円が減額となった。

《諸収入》

問 東京電力原発事故賠償金減額は。
答 23年度から26年度分の4564万7千円を予算化していたが、23年度から25年度分の3710万円が入金になった。26年度分は今後入金される。

歳出

《総務費》

問 企画費の地域創生推進費の繰越事業のスケジュールは。
答 旧山潟小学校の改修を行い、11月までには貸せる状態にしたい。
《農林水産業費》
問 畜産業費の委託料の増額は。
答 県沼尻試験場の汚染牧草処理にかかる経費で、当初見込んでいた400トンを超えたため増額する。

平成29年度予算

一般会計

歳入

《町税》

問 固定資産税の減額が大きい。
答 地下がマイナス2・65パーセント下落した。また、償却資産において電力の送電線等評価が変更になり減少した。

《地方交付税》

問 地方交付税がこれ以上減ると財政運営上、厳しいと思うが。
答 一定程度の安全な割合を減らし予算編成している。当初予算で確保した普通交付税の額を本算定で下回ることはないと考える。

《寄付金》

問 ふるさと納税寄付金を増額すべきでは。
答 皆様方の善意による寄付である。実績ではなく予算を見積もった。広く猪苗代をアピールし、ふるさと納税が行われるよう努力する。

《繰入金》

問 28年度末の財政調整基金残高は。
答 8億9251万8千円と見込んでいる。

問 財政が危機的状況になるのでは。
答 標準財政規模の基準をクリア出来ていると考えている。今後、厳しい予算編成になると思うが、限られた財源の中で可能な限り標準財政規模の10パーセント相当の基金と、29年度の必要事業等の財源を確保しながら住民の福祉向上に努める。

歳出

《総務費》

問 地域おこし協力隊活動事業費の増額の内容は。
答 現在2名の地域おこし協力隊を雇用している。29年度には新たに地域振興支援、有害鳥獣駆除の支援、観光振興支援の合計3名の雇用を予定している。

《民生費》

問 老人福祉費が増えた要因は。
答 介護保険特別会計の給付費が大きく伸びると予想されるため、町負担の繰出金が増加した。

《衛生費》

問 放射線対策費の仮置場遮蔽土処理業務委託の内容は。
答 仮置きした除染土砂の外周をフレコンに入れた遮蔽土砂で囲んだ除染土砂は28年度に中間貯蔵施設へ搬出を完了している。今回はこの遮蔽土砂を最終的に処理する業務である。線量は通常の土砂と変わらないことを確認している。

《商工費》

問 風評被害対策費の猪苗代町教育旅行支援事業補助金の状況は。
答 28年度の見込みだが、学校数では震災前の22年度比で74パーセント、児童生徒数では65パーセントとなっている。

《土木費》

問 新設された空き家対策費の具体的な使い道は。
答 委託費では空き家の管理システム補修業務で、空き家の調査を行ったデータをシステム化して全体的な管理を行う。
補助金は景観と環境に影響が大きい空き家に、一定の条件を付した中で支援をしていく。

《消防費》

問 磐梯山火山防災マップ作成委託は各家庭に配布する分の作成か。
答 現在ハザードマップを作成しており、それに基づいて防災マップを作成する。各家庭にも配布を予定している。

介護保険特別会計

問 保険給付費の伸びが著しい。要因と今後の対策は。
答 居宅介護サービスの給付費の中で、老健施設のショートステイが大幅に伸びている。29年度も同等のサービス給付を想定している。

問 今後の対策として、高齢者の方々に健康で過ごしていただくため、運動教室やサロン事業など、地域に根ざした事業を多く広めて、保険給付費を少しでも減額できれと考えている。

農業集落排水事業特別会計

問 一般会計の繰出金が歳入の根幹を成す特別会計の考え方と下水道の3つの特別会計の統合は。
答 一般会計の繰入金に頼っている状況である。

将来的には下水道3事業統合も含め、さらに地方公営企業会計の法適用に向けて検討し、今後の方向性を考えていく。

あなたの声を審議しました!!

3月定例会で審議された「請願」の結果は次のとおりです。

区分	件名 請願者の氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
請願第3号	安全保障関連2法の強行採決に抗議し廃止を求める意見書	渡辺 二公	総務	不採択
	【女性会議猪苗代班 副代表 藤原 澄子			
請願第1号	福島県最低賃金引き上げと早期発効を求める意見書の提出の請願について	渡辺 二公	経済建設	採択
	日本労働組合総連合会 福島県連合会耶麻喜多方地区連合議長代行 武藤 米司			

請願3号 付託委員会で採決された請願が本会議で不採択!!

原案に対して反対

【渡辺真一郎議員】

日本人を救い出す体制を整えておかなければ生命は危険にさらされる。日本にとっては極めて必要な法案と考えるので反対。

【関沢和人議員】

戦争につながる安全保障関連2法とは思わない。日本人の安全を守るために作られた法案なので反対。

原案に対して賛成

【五十嵐ミエ子議員】

戦争という現実の危険を回避するために賛成。

【渡辺二公議員】

非常に危険であり廃止を求める。

【佐藤英一郎議員】

正々堂々と議論し、公民の意識を喚起しながら法整備をすることが求められるので賛成。



うなやま ただあき
宇南山 忠明 氏
(島田)

《猪苗代町教育委員会の教育長の任命につき同意を求めることについて》

平成29年3月31日をもって土屋重憲氏が退任するため、宇南山忠明氏を適任と認め、全会一致で同意しました。
任期は29年4月1日から31年9月30日までです。

一般質問 町政を問う



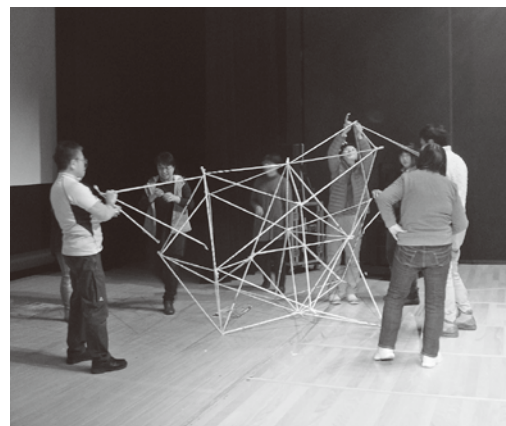
長澤 操

Q. 町内事業者への損害賠償額は
A. 2月末累計で180億3300万円

【長澤】特色と町独自のものは。
【答弁】第七次猪苗代町振興計画のスタートの年であり、5つの基本目標に基づき施策を展開する。子育て支援サービスの充実、道の駅を活かした町づくりの推進、猪苗代駅前広場の再整備事業、高校総体の空手道競技の当地開催、中学校統合に向けプロポーザル事業の推進等。

【長澤】税収、財政状況の見通しは。
【答弁】対前年度で町税は2・5パーセント減、地方交付税は1・1パーセント減となり、町債は予算総額の10パーセント以内に抑え健全財政に努めるが、今後とも厳しい財政運営が続くものと考えられる。

【長澤】風評被害対策は。
【答弁】山菜等については、野生きのこ、コシアブラ・タラの芽・ネマガリダケが出荷制限となっており、残念ながらまだ解除にいたっていない。今後も事業が継続できるよう、東電との調整や国県への要望活動をしていく。



東京学芸大学との連携で行われた「こどもパートナー講座」

地方創生のための総合戦略は
【長澤】取り組みは。
【答弁】道の駅の展開、大学との連携などの人材育成、子育て会議の開催など子育て支援、移住についての相談窓口の設置などライフスタイルの提案、農産物の販路拡大と空き家・空き店舗活用等による雇用の創出、外国人観光客の受け入れ態勢の充実による交流促進の6つのプロジェクトで対応していく。

【長澤】人口減少に対する取り組みと考
えは。
【答弁】移住、定住の相談窓口の設置、民間の不動産情報の活用、田舎暮らし情報をホームページ等に掲載、民間住宅家賃補助や新・中古住宅取得時の補助金の整理をし、子育てしやすい町をアピールしていく。

【長澤】学校教育における重点項目は。
【答弁】学校と家庭の連携による心の教育の充実、学力は国県の平均を上回っている。さらに先生方の授業力向上を計っていく。中学の英語の授業ではすべて英語で行うことを目指す。

※プロポーザル事業
：企画提案してもらい、最も適したものを選ぶ方法。

臨時会 (1月27日)

議会議員報酬月額、町長・副町長・教育長の給与月額、増額改定が賛成多数で可決！

あらまし

平成29年第1回臨時会は1月27日開催されました。町長から提出された議案は、専決処分報告案件1件、平成28年度補正予算案件1件、条例の一部改正案件4件であり、すべて原案のとおり可決しました。

【主な審議内容】

○議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

例

町特別職報酬等審議会からの答申に基づき、議会議員の報酬月額を、議長「28万9千円」を「31万3千円」に、副議長「23万4千円」を「25万8千円」に、常任委員長・議会運営委員長「22万2千円」を「24万6千円」に、議員「21万1千円」を「23万5千円」に平成29年4月から改正する。

○町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

町特別職報酬等審議会からの答申に基づき、町長、副町長及び教育長の給料月額を町長「70万2千円」を「78万2千円」に、副町長「59万3千円」を「62万6千円」に、教育長「55万6千円」を「58万7千円」に平成29年4月から改正する。

【主な質疑】

問 町特別職報酬等審議会の開催時期、諮問内容は。
答 平成27年12月25日に開催し、議員報酬月額及び町長等の給与月額改正を諮問し、答申いただいた。

問 平成28年3月議会でも否決しているが、その後審議会の開催は検討したか。
答 答申内容は非常に適正なもの判断しており、改めて議会に提案する方針で、審議会は開催していない。

問 改正が必要になった根拠は。
答 議員報酬額、町長等の給与額は、県内の同規模の町村と比較し低い水準にある。また、長い間改正されておらず、審議会へ諮問し答申いただいた。

問 町民の生活に配慮したのか。
答 町民の方々に代わって議員の皆様は審議をお願いすることが、間接民主主義と考える。さらに町特別職報酬等審議会にも、町民の参加をいただき、その意見をもって町民の最大公約数ということになると理解している。

賛成

渡辺真一郎議員
若い人が議員に出られるような報酬を考えていくべきと考えるので賛成。

後藤 公男議員
猪苗代町特別職報酬等審議会で満場一致で改定すべきとした答申は妥当であり、尊重しなければいけないと思うので賛成。

議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

討論

五十嵐ミエ子議員
自治体の財政状況、町民の暮らしの実態など総合的に判断して反対。

滝田勝昭議員
町民に開かれた議会、様々な取り組みをする議会にならないので反対。

渡辺二公議員
安ければ良いのではなく、議員が全力投球してやるべきことが先にあると思うので反対。

佐瀬 真議員
若い議員が出られるような報酬まで引き上げる必要があると思うので反対。

後藤公男議員
平成22年に減額された8万円を元に戻すことなので賛成。

渡辺真一郎議員
猪苗代町特別職報酬等審議会の答申を守るべきと思うので賛成。

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

渡辺二公議員
町長が8万円も上がるのは高いと思うので反対。

佐瀬真議員
東電の賠償金が廃止になれば、税収が落ちると分かるこの時期に出すことに反対。

滝田勝昭議員
雪不足、原発の風評被害等の状況を鑑み慎重に考えるので反対。

五十嵐ミエ子議員
町民の理解を得られないような状況にないので反対。

【審議した議案と可決状況】

件 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
	星野あけみ	瀧田勝昭	佐瀬 真	細貝 功人	佐藤英一郎	大橋 清喜	渡辺二公	長澤 操	金本久美子	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	佐藤光幸	関沢和人	後藤公男	長沼一夫	
議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	-	可決
町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○	×	○	-	可決

※賛成は「○」、反対は「×」、同数の場合には議長が採決に加わる。



佐瀬 真

さまざまな農業の問題は

【佐瀬】農業委員会のしくみが変わるがどのようなものか。

【答弁】農業委員の選出方法は公選制を廃止し、町長が議会の同意を得て任命する。新たに農地利用最適化推進委員が設けられた。

【佐瀬】農地利用最適化推進委員の主な活動は。

【答弁】遊休農地の発生防止、新しい担い手の参入の促進、農地利用の集積・集約化など現場活動を行い、農業委員会へ報告する。

【佐瀬】先に改革に着手した他市町村での問題点は。

【答弁】女性・青年農業者などの起用や一般の応募者が少なく、定数に満たなかった。

【佐瀬】新品種米「里山のつづ」の取り組みは。

【答弁】作付け標高や病害虫にも強い品種なので、今年の作付けに向け栽培マニュアルを作成している。



町で購入した食味計

【佐瀬】「天のつづ」・「里山のつづ」のブランド化に食味計導入の考えはないのか。

【答弁】食味計の数字での線引きは、十分検討する必要があると認識している。

【佐瀬】米作と共に考慮すべき野菜の生産拡大の取り組みと、道の駅での軽トラック市の導入は。

【答弁】経営所得安定対策の産地交付金やパイプハウスリース事業を展開。道の駅での軽トラック市の導入などで、野菜を安く売ることができていない。ある程度の対価をいただき、生産性のある農業経営を図っていきたい。



早く実施してほしい
通学路の側溝工事

子供たちへの教育の取り組みは

【佐瀬】統合中学校建て替えの現在案は、今の中学校校庭に新校舎を建て、その後北側に校庭を整備することになっているが問題ではないのか。

【答弁】現時点では最良で、経済的な面も考慮して適正化委員会に了承していた。

【佐瀬】通学路安全推進会議へ地区の実情に詳しい区長が入っていない。

今後、構成委員には入れないのか。

【答弁】他市町村のガイドラインも考慮し、現時点では考えていない。

農業政策は

【金本】農業振興地域整備計画の総合的な見直しは。

【答弁】平成9年度に計画の見直しを行い、全町的なほ場整備事業も完了した。今後必要な基礎調査8項目を、一つ一つクリアしながら作業を進めていきたい。

【金本】農業委員会の改正に伴う役割分担と農林課の事務分担は。

【答弁】農地利用最適化推進委員の役割は、各集落において人・農地プランの策定の話し合い等に参加し、農地の出し手、受け手へのアプローチとマッチングを行っていた。農林課と農業委員会がそれぞれの分野、立場において役割を果たし、実効性のあるプランを作っていく。

【金本】農産物の6次化の現状は。

【答弁】農産物6次化商品開発に補助金を交付し、27年度は5件、28年度は2件活用されている。完成した加工品は町内の店舗、道の駅猪苗代で販売または販売予定である。

【金本】道の駅の試験室の活用は。

【答弁】道の駅にある試験室は、急速冷凍や乾燥あるいは粉末化、真空包装、レトルト化というような商品開発ができるような備品を今整備しているところである。これらを使って新たな商品開発に繋がっていただければと考えている。そのルール作りも新年度早々に示したい。

道の駅を活用した振興政策は

【金本】29年度の町の計画は。

【答弁】町の総合防災訓練は、道の駅猪苗代ヘリポートを使用し、消防防災ヘリコプターによる救出・救助訓練の実施を考えている。

観光振興は、情報発信の充実と町内外観光地を巡る日帰りバスツアー事業、町内観光施設等への回遊性を高めるレンタサイクル事業を行う予定である。

農業振興として、パイプハウス等を活用した計画的な生産と販売を推進したい。



設置がまたれる道の駅の意見コーナー

【金本】道の駅指定管理は31年3月までだが、その後は。

【答弁】開始以来約25万人の入込があり、今後に期待している。できるだけ早く独り立ちしてもらおう考え方には変わりはない。



金本 久美子

Q. 道の駅に対する町民の思いは

A. ご意見コーナーを設置して運営に反映させていく

Q. ブランド米の選定に食味計は導入出来ないのか

A. 検討する必要があると認識している



関沢 和人

公有財産の状況は

【関沢】普通財産の現況は。

【答弁】町有施設用地5984平方メートル、宅地25万4106平方メートル、山林43万5040平方メートル、原野37万245平方メートル、建物の延べ面積は2075平方メートルである。

土地の一部を福島県、磐梯青少年交流の家、民間企業などに有償で貸し付けている。建物には旧役場の分庁舎、六角の倉庫、旧消防署、旧県立病院だった管理棟などがある。

【関沢】若者の定住対策に普通財産を活用できないか。

【答弁】若者の定住には条件を付けなければならず、まずは公売という形をとりたい。

【関沢】それぞれの旧幼稚園の所管は。

【答弁】所管は現在こども課で、普通財産への所管替えを検討している。

【関沢】旧山湯小学校は普通財産か。

【答弁】まだ行政財産である。

【関沢】これからどう活用するのか。

【答弁】起業家などに貸し出し、人の集まるような場所「人の駅」とし、活性化を図りたい。



「人の駅」に利用される予定の旧山湯小学校

【関沢】駅前再整備計画の前年度実施予定の工事はなぜできなかったか。

【答弁】国の交付金配分がなかったためである。

【関沢】その後の計画の進捗は。

【答弁】進捗はない。

【関沢】会津バス跡地の利用は。
【答弁】西側をドローンの操縦訓練所として約40万円で貸し出す。

道の駅の活用は
【関沢】道の駅の利活用は。
【答弁】観光と農業の拠点施設として活用したい。

【関沢】夏場の出品過剰対策は。
【答弁】計画的に調整を図る。
【関沢】改善の繰り返しが必要では。
【答弁】指定管理者と共に改善していく。

【関沢】町の魅力アップなどにガイドの養成が必要と思うが。
【答弁】道の駅での専門ガイドは考えていない。伝保人会等の協力を得ながら誘客を図る。

【関沢】6次化産業育成への活用は。
【答弁】町、県、国の補助を得ながら推進したい。

人口減少対策は

【関沢】お試し居住や広域連携は。

【答弁】お試し居住は非常に有効と考える。広域連携は検討が始まろうとしている。

東日本大震災の記録は

【渡辺】記録の保存は。

【答弁】災害対策本部や会議録、あるいは避難者リストや支援物資等、関係資料は残されている。節目あるごとに復興のための事業など、広報誌などにも掲載している。

【渡辺】書類などの他に写真や映像は。

【答弁】当時の避難所の様子や実際の被害状況、あるいは支援状況等、さまざまな形で撮ったものをまとめて保管している。

【渡辺】長期に渡る避難所運営の体制と反省は。

【答弁】町は直ちに災害対策本部を設置し、職員は各セクションに分かれ、24時間交代勤務で対応した。また、多くのボランティアの方々に非常にきびしい条件下で数々の対応をお願いした。この場で御礼を申し上げたい。
反省点はその都度セクション内で話し合い、改善できるものは改善し、工夫を凝らしながら対応した。



渡辺 二公

Q. 今冬の除雪体制は

A. 降雪前に区長を通し除雪計画の周知と協力をお願いした

除雪オペレーターの対応は

【渡辺】身分の保障は。

【答弁】12月15日から翌年3月14日までの3ヶ月間は道路除雪臨時運転手いわゆる町臨時職員として雇用している。

民間では7社に委託し、除雪計画を踏まえた各企業の定める条件で雇用されている。

【渡辺】除雪業務と人数は。

【答弁】11月末から12月上旬に6地区ごとに区長に町の除雪計画を説明周知して、雪捨て場の確保や除雪作業への協力をお願いしている。除雪オペレーターは平成24年に30人雇用したが年々減少し、本年は21人の雇用であった。



オペレーターの確保が心配される



渡辺 真一郎

観光アピールは

後期高齢者医療は

【渡辺】猪苗代は県の観光最重点地域と

思うが全国的に知られていない。

【答弁】県と連携し、観光宣伝に努める。

県のポスター、パンフレットでは

機会ある度に取り上げている。県

との話し合いの場で相談する。

【渡辺】東北の外国人観光客が全体で日

本の1パーセント未満、東北一体

となつての観光アピールが必要で

は。

【答弁】東北の名所を縦断する形でのイ

ンパウンド誘致に取り組む。



より認知度を上げたい猪苗代湖

【渡辺】町民の医療費は。

【答弁】一人約86万円、全国平均は約92

万円で7パーセント少ない。

【渡辺】今後、高齢者が増え医療も急速

に進歩している。医療費もそれに

伴い急激な増加が見込まれる。現

在の医療制度が維持できるのか心

配だが。

【答弁】平成29年の保険料は上がらない

が、制度がどのように推移するの

かは状況を見極めて進め方を十分

注視していく。

東京電力の賠償は

【渡辺】これからの賠償がどうなるかの

情報はあるのか。

【答弁】現段階では不明である。

【渡辺】風評被害は続いている。県内で

の放射能の食品検査結果はあまり

県外では知られていない。国内外

に安全性を十分アピールしてから

賠償打ち切りをすべきでないか。

【答弁】安全性の発信を国、東京電力に

要望していく。会津・猪苗代の安

全性の情報は十分でないと考えて

いる。

【渡辺】テレビ、新聞等メディアでの安

全性の情報提供が不足であると考

えるが。

【答弁】そのとおりだと思う。

固定資産税の見直しは

【渡辺】宇都宮地裁で観光客の減少によ

り固定資産税の減額判決が出た。

町の対応は。

【答弁】現在、高裁へ控訴中で確定では

ないので、減額は考えていない。

【渡辺】耕作放棄地への増税が国の方針

となつたが、今年度どのような

のか。

【答弁】耕作放棄地への増税ではなく、

農地法に基づき勧告された遊休農

地が対象になるが、町には勧告を

受けたものはない。

防災無線の利活用

【五十嵐】行政情報やイベント情報まで

幅広く活用できないか。

【答弁】緊急にお知らせする必要がある

場合を除き、原則として防災関連

の情報に限っている。

なお、過去に自然災害などに

よつてイベント中止を放送した経

過はある。

【五十嵐】町民から放送が聞こえないと

いう声があるが、今後の戸別受信

機の普及は。

【答弁】現在、アナログ方式からデジタ

ル方式に更新を行つており、戸別

受信機の整備を予定している。

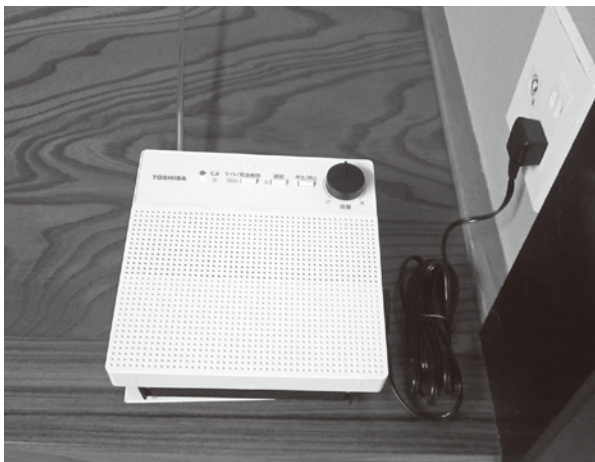
屋外拡声器の音の伝達範囲から

外れる世帯に対しては、状況を確

認し必要に応じて戸別受信機の配

布を行いたい。全家庭に入れるこ

とは現在のところ考えていない。



設置された戸別受信機

新年度の予算編成は

【五十嵐】予算編成の基本的な考えは。

【答弁】平成29年度は、第七次猪苗代町

振興計画のスタートの年であり、

町づくりの基本理念である地域を

育て、みんなが心地よく暮らせる

まち猪苗代の実現と、震災とそれ

に伴う東京電力の原子力発電所事

故からのさらなる復興に向けた事

業に重点化を図り、予算を編成し

たところである。

歳入の見通しは、対前年度比2・



五十嵐 ミエ子

Q. 今後の戸別受信機の普及は
A. 必要に応じて配布を行っていく



佐藤 英一郎

平成29年度の重点施策は

地熱発電事業掘削調査は

農政の取組みは

【佐藤】基本目標に基づく施策とは。

【佐藤】現状は。

【佐藤】多面的機能支払交付金事業の進捗状況は。

【答弁】「子育て支援サービスの充実」「多機能型道の駅を活かした町づくりを推進」「猪苗代駅前広場の再整備事業」「陸上競技場公認更新のための改修事業」「本年7月開催の全国高等学校総合体育大会空手道競技の開催」の5つと、34年度開校を目標にした統合中学校のプロポーザル事業である。

【答弁】調査を開始してから4年を経過しようとしており、28年度には資源である熱源、水、それから貯留槽といわれる場所の存在の掘削調査を昨年の10月から実施している。

【答弁】農地維持活動に54組織、63行政区が取り組んでいる。対象面積は2056ヘクタールで、農地区域の75パーセントが対象となっている。

【佐藤】基本目標にある道の駅を活かした町づくりへの関わりは。

【佐藤】どのようにして地域の活性化に結びつけるのか。

【佐藤】今後の目標は。

【答弁】関係課と株式会社道の駅が道の駅の充実に向け連携し、よりよいものにしていく。

【答弁】地熱発電の事業が見込めるとなれば、この熱量を利用した温室での作物栽培、調査研究などが検討されると考える。

【佐藤】人・農地プランの策定状況は。

【答弁】現在まで11集落において策定しており、今年度内に2集落で策定する予定である。

【佐藤】今後の取り組みについてどのように考えているか。

【答弁】まだ取り組んでいない集落に対しては、取り組むような活動を推進していく。

Q. 新年度の施策は

A. 第七次猪苗代町振興計画の基本目標に基づき展開する



11月に行われた掘削現場見学会



瀧田 勝昭

Q. スポーツコミッションを提言する

A. 前向きに検討したい

スポーツ振興は

【瀧田】スポーツ行政の現状と課題は。

【瀧田】人口減少、少子化で子どもの数

もすぐに半分になる。そこで、学

【答弁】スポーツ振興の町を宣言し、健康な心と身体を培い、生きがい

【答弁】児童数の減少に市町村合併など

満ちた町づくりを推進し、各種大会の開催と施設の整備を行っている。町の人口減少に伴い、スポーツ人口の減少も進んでいる。

【瀧田】スポーツ振興政策の推進は今後

環境は守れるのか。

どう進めるのか。

【答弁】スポーツ基本法の趣旨に基づき、スポーツの振興政策を進める。スポーツイベントを誘致し、町の経済活性化に努めたい。

【瀧田】スポーツと景観、環境、文化などの地域資源を掛け合わせ、戦略的に活用する地域スポーツコミッションを提言する。

【答弁】スポーツコミッションは、磐梯山周辺3町村で取り組んでいる事業もあり、整合性を図りながら、前向きに検討したい。



毎年開催される町民大運動会

【瀧田】人口減少のなか、行政区と町との関係について、どのように考えるのか。

【答弁】住民参加による町づくりは、行政区と行政が手を携えてその行政推進を図っていくことは必要かつ望ましい。人口は減少するのに、政策は依然として従来の人口の政策ということはありません。

委員会レポート

文教厚生常任委員会

～図書歴史情報館の状況～

【調査内容】

平成21年度に公民館をふるさと歴史館に名称、用途変更し供用したが、23年度の東日本大震災により耐えがたい施設となったため、図書館機能と歴史情報館機能を併せた複合施設として26年4月に開館し、3年目になる。

図書館事業の資料状況は、新しく蔵書になった数1653冊、内新規購入609冊、寄贈1044冊である。12月末での蔵書数は3万4992点となっている。

歴史情報室では、各分野・時代ごとに出土遺物や絵図を写真、パネル等で紹介している。企画展も行い、素晴らしい芸術の鑑賞や自然、歴史、その他文化等を紹介している。

文化財保護事業は、猪苗代町文化財保護審査委員会の開催、民具の保存修理及び町史編さん資料の旧猪苗代保育所への移動・整理を行った。

また、会津藩主松平家墓所保存整備事業は、国庫補助事業で17年度より測量、発掘調査等、参道を主とした工事を実施し、本年度に完成した。

【意見】

- ・歴史、文化はこれからのまちづくりに重要な役割を果たす。今後も施設の振興を図る努力を続けていただきたい。
- ・施設も充実しており、多くの方に利用して頂けるような取り組みを期待したい。
- ・イベント情報などを道の駅と連携し、発信・啓蒙すべきである。
- ・生涯学習課長が館長を兼務している。図書館事業を長期的視野に立って勧める責任者であり、読書環境整備の中心的役割を果たすべき職である。業務に専念できる環境にすべきである。



図書歴史情報館にはたくさんの本が並び

総務常任委員会

～火山防災～

【調査内容】

平成26年の御嶽山の噴火から噴火警戒レベルの見直しが行われ、関係する火山対策が急がれた。安達太良山は、27年3月に安達太良山火山噴火緊急減災対策砂防計画を策定し、28年10月に防災マップを全世帯に配布した。

安達太良山火山防災マップは、マグマ噴火で解けた雪が泥流となり、町内の平野部や高速道路の南側まで流出、猪苗代湖に流れつく最悪の事態を想定し策定した。

磐梯山は、13年5月に磐梯山火山防災マップを公表、24年には防災マップを作成した。28年3月に磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画を策定し、29年2月末にはハザードマップを完成させ、3月末にホームページで公表し、防災マップを作成することになった。



29年度に改訂される
磐梯山火山防災マップ

【意見】

安達太良山火山防災マップは配布され、磐梯山火山ハザードマップも公表されるが、家庭に配布されてもよく理解されなかつたり、いたずらに不安がらせたりすることは十分考えられる。防災計画の内容や、防災計画に沿った身近な避難方法、あるいは対応の仕方を住民にわかりやすく丁寧に周知する手法を確立していただきたい。

磐梯山火山噴火緊急減災対策砂防計画では、一番発生確率の高い小規模な水蒸気噴火、明治時代に起きた大きな水蒸気噴火、一番被害の大きい冬季間、積雪のある中でのマグマ噴火の被害を想定している。磐梯山火山防災マップ作成のベースとしては、一番可能性の高い小規模水蒸気噴火を想定している。

経済建設常任委員会

～除雪状況調査～

【調査内容】

「平成28年度猪苗代町除雪計画書」を基に調査を行った。

・基本方針

国県における除雪実施計画と連携・調整を図り、物資の輸送及び民生の安定を図る上で重要な路線の交通量、道路状況、気象条件及び通学路などの諸要素を考慮し、実施する。

・除雪期間

12月15日から3月14日までだが、期間以外で除雪の必要が生じた場合、その都度検討し実施する。

・路線区分

路線は、第1区分（主要幹線・バス路線、通勤通学路線・公共施設関連路線・国、県道連絡路線）、第2区分（第1区分路線の関連路線・防災施設への連絡路線・防災世説への連絡路線・集落間の連絡路線・公共施設）、第3区分（第1、第2区分路線以外）に分け、順に除雪を実施する。

・除雪作業

新雪の場合の出動基準は、路線区分により実施する。早朝作業は午前3時の時点における降雪深が第1区分10cm、第2・3区分15cmを概ね上回ると判断される場合に、午前3時30分から開始する。

【意見】

通学路の除雪は、生徒の安全を第一とし、出来る限り路面の凹凸をなくす除雪等をお願いしたい。除雪作業オペレーターの確保が困難であり、民間委託に頼らざるを得ない状況である。若者の建設業離れが深刻で、人員、技術者不足による高齢化が著しいため、作業内容に見合った労働単価の設定、安定雇用を図るための補償対応など、賃金体系の改善を検討していただき、操作訓練・講習会等の実施や免許取得への補助など教育環境の整備を考えるべきと思われる。関係機関との連携・情報共有、地域住民の理解、地域性を考慮した除雪作業を行われない。



民間に頼らざるを得ない町道の除雪

会津若松地方広域市町村圏整備組合議会 ～2月定例会報告～

2月定例会は2月14日から開催され、報告案件が2件、議案8件が提出され、各所管委員会で審査の後、本会議で満場一致で、すべて原案のとおり可決された。主な案件は、平成28年度一般会計補正予算として、予算の総額から歳入、歳出それぞれ1億1090万円を減額し、歳入歳出それぞれを5億4226万5千円とするものである。減額の大きな要因は、現在進められている組合庁舎耐震補強工事及び大規模改修工事にかかる経費の決定によるものである。

平成29年度一般会計予算は歳入、歳出総額を前年度予算からそれぞれ2億6217万8千円減額し52億7921万8千円とするものである。主な内容は、消防施設整備組合に基づいた会津坂下消防署建設事業2カ年継続費の計上と、廃棄物処理場施設整備の事業計画にかかるもので、構成市町村の厳しい財政状況を考慮し、前年度予算から減額されたものであった。

これ以外の提出議案は「あいづふるさと市町村協議会」への負担金拠出と、地方公務員法の一部の改正等に伴い水道企業職員給与の条例改正及び水道用水供給事業会計の議案が2件であった。

議会を傍聴しませんか

次の定例会は6月です。

事前の申し込みは不要です。直接3階までお越しください。

傍聴の手続きは、傍聴席の入口で住所と氏名、年齢を記入するだけです。

お気軽に傍聴にお越しください。

▼問い合わせ先▼

猪苗代町議会事務局

電話 0242-62-5666



町民の声



猪苗代地区
長谷川幸男さん

春の訪れ

このたび「町民の声」の執筆依頼があり、何を書こうかと家中をうろうろ。

毎朝、歯を磨き、顔を洗いながら見ていた一本の桜の小枝。

それは2月半ば過ぎた頃だったか、小5の孫娘が近くの公園で拾ってきた小さな桜の枝。

その枝にはまだ色づきもなく米粒ほどの小さくて硬い蕾も幾つかついており、そのまま放置していれば枯れて朽ちてしまったかもしれない小さな枝。

植物の生命力、咲いてほしいと願う孫の優しい心。



そんな願いが通じたのか、日を追うごとに蕾も膨らみ、今では薄紅色の花を咲かせ、洗面所に春の訪れを感じる今日です。

春彼岸が過ぎても時には降雪の日もあり、三寒四温を繰り返しながら明るく暖かな春の訪れを待つ喜び、この原稿が掲載される頃には亀ヶ城跡の桜も見頃を過ぎ、わずかに初夏の気配を感じる季節となっていることでしょう。

春夏秋冬、四季を感じながら生活ができ、生きて行ける猪苗代が好きです。

秋の叙勲



元猪苗代町議会議員の長谷川與一さんが、旭日双光章を受賞され、3月25日(土)にレイクサイド磐光において、叙勲祝賀会実行委員会による祝賀会が開催されました。

おめでとうございます。

傍聴においで下さい

**6月議会は
6月6日(火曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日:12日(月)・13日(火)】

※質問者・質問内容については6月1日以降に町のホームページ(議会事務局)に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・如風庵
- ・まちのえきまるしめ

編集後記

もうすぐ3月も終わり、次年度のしたくが始まります。テレビなどでも桜の開花が報じられる中、花吹雪とは縁遠い猪苗代はいまだに冬景色です。

それでもこの議会だよりが配られた頃は桜の話題で町も賑わい、多くのお客様が春の当町を楽しんでいることでしょう。

そんな1ヶ月で代わる情勢を受けて、町の広報誌と同日に配られていたこの議会だよりも、議会の結果を皆様にいち早く知っていただけたらというにと翌月配布といたしました。

編集を担当します自らが文章を考え、分かりやすい議会活動を皆様に伝えること。また、いろいろな問題を町の方々の目線で知らせ、ご理解を得ることが出来るような「議会だより」を目指しています。

より良い本誌にしていくなためにも皆様のご意見をお聞かせください。

佐瀬 真

議会広報編集特別委員会

委員長	後藤 公男
副委員長	佐藤 英一郎
委員	星 野 英一郎
委員	瀧 田 勝昭
委員	佐 貝 功 人
委員	細 貝 功 人
委員	渡 辺 功 人
議長	長 沼 一 夫